

2019年8月20日時点の状況報告書 各保険年度総括と精算保険料 2020年度保険料

こちらは、英文記事「[Status report as at 20 August 2019 Review of policy years and Release Calls Premium policy for 2020](#)」（2019年11月）の和訳です。

Gard P.&I. (Bermuda) Ltd.およびその子会社（併せて「組合」といいます）の理事会は、P&I 相互保険および FD&D 特約について、2020 年度の見込総保険料（ETC: Estimated Total Call）の一律引き上げ（General Increase）は行わないことを決定いたしました。

2019 年 8 月 20 日現在の組合の財務状態は、連結ベース¹では引き続き強固です。P&I 相互保険の上半期（2019 年 8 月 20 日に終了）の実績としては、目標水準を上回る剰余金が生じています。これは、全般的に堅調な業績トレンドが継続していることを意味し、その結果として、組合はこの数年間、最終回払保険料の全額徴収を行わずに済んでいます。

保険料率全般に関しては、メンバーごとに見込総保険料を長期的な観点から公正な水準とすることを目標としています。

半期業績および 2019 年 8 月 20 日時点における異常危険準備金

ETC ベースでは、包括利益合計は 6,470 万米ドルのプラス、コンバインドレシオは 96%でした。Gard グループの純資産は（2019 年 2 月 20 日時点の 11 億 5,900 万米ドルに対して）12 億 1,100 万米ドルとなり、これが、相互組合としての健全性・安定性を支えています。

各保険年度総括

終了した年度

終了した全年度に関する剰余金見積もり額は、10 億 2,900 万米ドルでした（2019 年 2 月 20 日時点では 10 億 3,200 万米ドル）。終了した年度に関する 300 万米ドルの剰余金の減少は、主に 2015 年度の見積もりクレーム額の増加によるものです。

¹ 「連結」という用語は、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd.、Assuranceforeningen Gard - gjensidig - およびその子会社の連結会計を意味します。

終了していない年度

2016年から2019年の終了していない年度は、2019年8月20日の時点で1億5,500万米ドルのプラスになると見込まれます。これらの年度に対する見積もりは、大幅に変動する可能性があります。

2016 保険年度

2016 保険年度に関しては、メンバーの皆さまに対する最終回払保険料をゼロに設定いたしました。これは、メンバーの皆さまにとってETCが20%の減少となったことを意味します。2016 保険年度に関する業績見通しは、過去6カ月において改善が見られました。組合の強固な財務状況により、理事会は追加の保険料の徴収なしに、2016 保険年度を終了することを決定しました。

2017 保険年度

2017 保険年度に関しては、メンバーの皆さまに対する最終回払保険料をゼロに設定いたしました。これは、メンバーの皆さまにとってETCが20%の減少となったことを意味します。2017 保険年度に関する業績見通しは、過去6カ月において悪化が見られました。当年度は剰余金が生じることが見込まれており、追加の保険料の徴収なしに、2020年11月に終了する予定です。

2018 保険年度

2018 保険年度に関しては、メンバーの皆さまに対する最終回払保険料として2019年9月にETCの10%を徴収いたしました。これはETCが10%の減少となったことを意味します。2018 保険年度に関する業績見通しは、過去6カ月において悪化が見られました。当年度は追加の保険料の徴収なしに、2021年11月に終了する見込みです。

2019 保険年度

2019 保険年度の上半期には、2018 保険年度の上半期と比較して既発生損害の減少が見られました。既報告損害の件数は2%増加しています。2019年8月20日現在の2019 保険年度の既発生損害は予想を4%下回っています。当年度の予想最終回払保険料はETCの20%です。

精算保険料

精算保険料は、該当する未終了の保険年度における該船のETCに対する比率として計算されま

す。理事会は、現在の予想に基づき、また精算保険料設定の慣行に沿って、未終了の保険年度の精算保険料を以下のとおりとすることを決定しました。

2017 保険年度：	5%
2018 保険年度：	5%
2019 保険年度：	10%
2020 保険年度：	10%

2020 保険年度に関する保険料および免責額

ポートフォリオの全体的な料率水準は、クレームの頻度と規模に重大な変化がないことを前提に評価され、2020 保険年度のクレーム見込み額を満たすのに十分であるとされています。セグメントと個別のメンバーの間で保険料率の水準を調整する必要が生じるかもしれません。長期的な剰余金目標を達成するとともに、厳密に正確な見込総保険料（ETC）の水準を維持するためには、更新にあたり現行の保険料率の水準を維持する必要があります。

2020 保険年度に関する最終回払保険料は、ETC 保険料の 20%を維持します。理事会は当該の最終回払保険料にかかわる保険年度の終了後に、全額あるいは一部を徴収するかどうかを決定します。

免責額

理事会はさらに、約款（船舶）附則 V 第 2 条に規定された P&I リスクの各標準免責額について、変更しないことを決定しました。

まとめ

理事会による決定は以下のとおりです。

(i) 2020 保険年度に関する保険料

N P&I 相互保険および FD&D 特約については、見込総保険料に対する一律引き上げは行いません。2020 保険年度の最終回払保険料は、ETC 保険料の 20%に設定するものとします。

(ii) 終了していない保険年度のまとめ

2016 保険年度: 最終回払保険料はゼロに設定されています。当保険年度については、これ以上の保険料の徴収はなく、終了いたしました。

2017 保険年度: 最終回払保険料はゼロに設定されています。当保険年度については、これ以上の保険料の徴収なく、2020年11月に終了する見込みです。

2018 保険年度: 最終回払保険料は、当初の見込総保険料の10%に設定され、2019年9月に徴収されました。当保険年度については、これ以上の保険料の徴収なく、2021年11月に終了する見込みです。

2019 保険年度: 見込総保険料の20%にあたる最終回払保険料の当初見積もりに変更はなく、2020年5月に見直す予定です。

(iii) 終了していない保険年度の精算保険料

精算保険料（該船の見込総保険料に対する率）：

2017 保険年度：	5%
2018 保険年度：	5%
2019 保険年度：	10%
2020 保険年度：	10%

ご質問がありましたら、[ガードジャパン株式会社](#)までお問い合わせください。

GARD AS



Rolf Thore Roppestad
CEO（最高経営責任者）

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。